

目指せ！エコスキー場 ～そしてエコビレッジへ

白馬村は人口約 9, 200 人。年間観光客は 270 万人で約半分はスキー客。その冬期期間の産業であるスキー場事業者や観光事業者(村の9割が第三次産業に従事)に対して「エコスキー場」という概念を3年前から提唱。勉強会、アンケート、調査研究等を行ってきた。平成 19 年 10 月 26 日に、白馬村7つのスキー場全てが参加し「白馬エコスキー場宣言！」を発表する事ができた。

この活動に関わっている人数は平成 18 年～20 年延約 50 名となっている。

活動の内容としては、

- ・各スキー場から廃棄される「廃食油」の全量回収を目指す(07-08 冬シーズンで 20%の回収)
- ・その廃食油を現在はBDF化。より環境負荷が少ないSVO(WVO)での利用を視野に入れた研究を行っている(マイクロバスを含む3台の車両を改造)
- ・スキー場所有のシャトルバス等の車両に「廃食油」利用を研究中
- ・生ごみの堆肥化(スキー場、宿泊施設等の4カ所試験運用中)
- ・エコドライブ(アイドリングストップ)の推進(エコドライブ講習会の実施/06 年実施)
- ・各社独自で行える活動の検討と実践。

WVO 車に改造中

右側の赤いボトル状のものが濾過装置



【活動団体の紹介】

白馬環境教育推進協議会(通称:白馬エコネット)(代表者:和田 信治)

長野県北安曇郡白馬村北城 3020-567

Tel:0261-72-5061

Fax:0261-72-5947

E-mail: tagayasu@hakuba.jp

WEB サイト: <http://www.tagayasu.com/econet/>

いいもりゲレンデ:生ごみ

トレーラーも廃物を改造。この中に木枠の堆肥ボックスを8つ並べられる



いいもりゲレンデ: 生ごみ

トレーラーの内部。説明しているのは、いいもりゲレンデの高橋所長さん。



エコスキー場宣言の風景

エコアクション 21 を取得している白馬観光開発(株)《八方尾根・白馬岩岳・柵池高原》の横田さんの発表



エコホテル見学ツアー

ホテルヴィオラさんを訪問。使用しているエコ配慮グッズの説明。



五竜スキー場ゴミ分別バックヤード

スキー場のメイン施設「エスカルプラザ」内のごみ集積場。分別が徹底している。



生ごみ-ぱっくん

ダンボールで堆肥化する「ぱっくん」。資材となるピートモスともみ殻薫炭の混合物に市の助成制度があります。



生ごみ(小谷式)

そば殻、生ごみをサンドイッチにして積み重ねる+信州大学の酒井先生開発のZ菌/慣れてくれば不要とのこと。かき混ぜ不要。好気性。中国等全世界で普及中。

